

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/04/11

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.59	0.10
JPY/THB	0.2702	0.0000
USD/JPY	124.34	0.39
EUR/THB	36.53	0.11
EUR/USD	1.0877	-0.0002
USD/CNH	6.370	0.007
SGD/THB	24.64	0.04
AUD/THB	25.05	0.00
USD/INR	75.91	-0.05
USD Index	99.80	0.05

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.682	0.012
10Y (THB)	2.445	0.007
5Y (USD)	2.754	0.046
10Y (USD)	2.700	0.042

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,941.6	7.8
WTI (Oil)	98.26	2.23
Copper	10,323.5	12.0

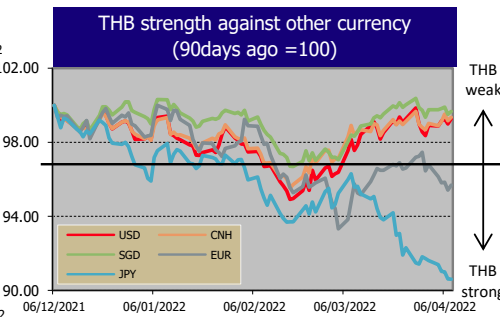
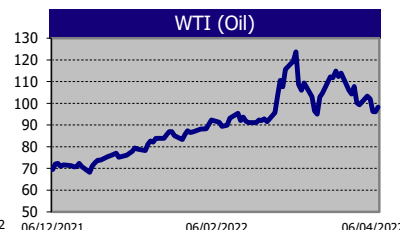
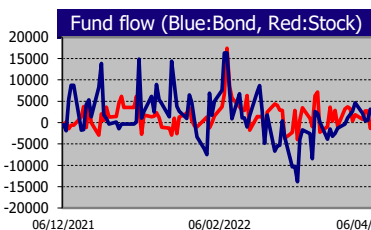
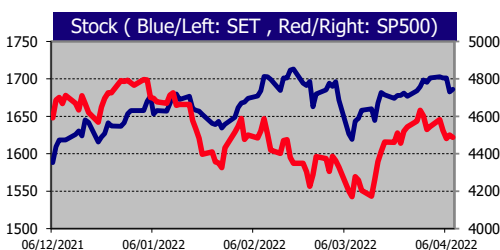
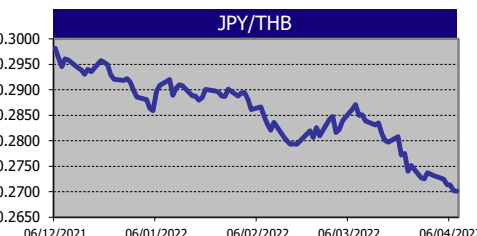
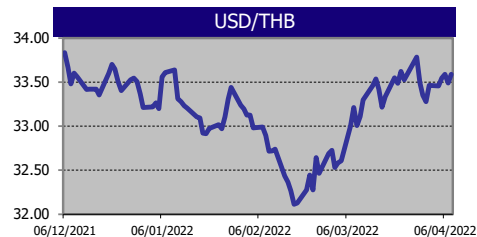
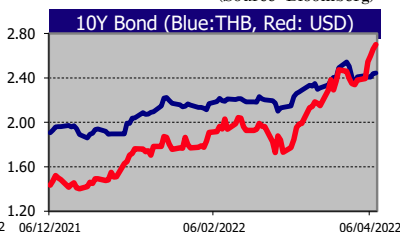
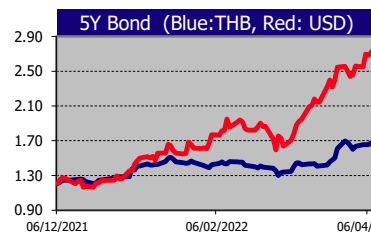
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,686.00	3.59
NIKKEI (JP)	26,985.80	97.23
DOW (US)	34,721.12	137.55
S&P500 (US)	4,488.28	-11.93
SHCOMP (CN)	3,251.85	15.15
DAX(GER)	14,283.67	205.52

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(208)	1171.1
Bond net flow	2,720	-412.4

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

8日のドルパーツは33パーツ半ばで取引開始。前日の米10年債利回りの上昇や米大幅利上げ観測が影響してパーツは他のアジア通貨同様に対ドルで売られ、バンコク時間はドルパーツの上昇が続いた。海外時間、米債利回りの上昇やドル指数が約2年ぶりに100を上回り、その後も高水準を維持したためにドルパーツも33.59と同日高値圏をキープして引けた。

●ドル円その他

8日のドル円は124円近辺で取引開始。東京の仲値公示に向けて実需のドル売りに押され123円後半へと50銭ほど下落したが、その後は米長期金利の小幅上昇にサポートされて再び124円を回復。海外時間、翌週前半に米3月CPIを控えている中で原油先物がじり高となり、FRBがタカ派姿勢を強めていくという思惑から、米債利回りが上昇していく中でドル円は一時124円半ばへ上昇。NY時間終盤は少し上げ幅を縮小して124.34レベルで越えた。

Bangkok Dealer's Eye

先週は公表された3月FOMC議事要旨に加えて3月ECB議事要旨においても、金融政策引き締めスタンスが読み取れたことで主要中央銀行の金融政策正常化への意思が改めて確認されたように思います。特にFRBについては、ウクライナ情勢という不安要素が出現したことで、CPIの高止まり及び力強く回復する雇用市場を認識しながらも3月FOMCでは50bpの利上げに踏み切ることが出来なかっただけに、FOMC議事要旨の公表に合わせるかの如く、FRB高官からタカ派発言が確認されました。こうした中でドル指数は2020年のパンデミック発生時の混乱以来約2年ぶりに一時100を超えており、ほぼ全てのアジア新興国通貨が対ドルで下落しています。今週はソンクラン休暇前本日含めて2営業日しかなく、且つ米インフレ関連指標や景況感指数、複数のFRB当局者の講演が控えているため、ドルパーツの取引量が少なくなる中でボラティルな展開になると予想しています。(鈴木)